

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ギフトッド湯川			
○保護者評価実施期間	R6年 12月 25日 ～ R7年 1月 11日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	14名
○従業者評価実施期間	R7年 1月 6日 ～ R7年 1月 11日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様ファースト	利用者様を第一に考え、本児のみならずご家族や兄弟等の相談援助(電話や家庭訪問、事業所面談)や、送迎時間や場所の変更等も臨機応変に対応し、困り事をサポートしている。	職員の負担も配慮しつつ、今後も変わらぬ対応が出来るように体制を整える。
2	個々の特性に合わせた支援(視覚支援、個別療育、集団療育)	個々それぞれの特性や、レベルに合わせた個別での対応に力をいれている。 ・創作的活動 ・運動 ・パソコン ・コミュニケーションを育てる関わり 等	年齢層が上がってきている為、中学進学に向けた支援を行っていく。
3	「褒めて伸ばす」「楽しく学ぶ」を理念としたプログラム	否定的な言葉(ダメ 等)は使わずに、リフレーミングにて伝え 「出来た」を褒める事で自己肯定感を高め、何事にも自信を持ってチャレンジ出来る様に支援している。	全職員のスキルアップ研修を行い、支援の質をさらに高める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が少ないこと	予定として組む事もあるが子ども達の特性やその日の状態によっては実施する事が難しい事があった。	児童館などに積極的に出向く他、地域の方たちが参加出来るイベントを事業所が主体で企画する。
2	保護者会等の開催による保護者同士の交流の機会が希薄なこと。	曜日設定や保護者様への告知が遅いた為に予定が合わないなど。	日時と曜日を固定化し、早い段階から告知をする。
3			